

全学連 国際学連の旗の下 要求で団結し、たたかう自治会を

学生運動の二つの任務を掲げて闘うノ

私たちは、今、学生運動は、二つの任務があり、自治会は、それを高く掲げて闘うべきであると思ひかけています。

二つの任務 それは、学生の独自の要求と全人民、学生の共通の要求、政治課題にもとづいて民主勢力の一翼として闘うことと一つ、そしてもう一つは、二つした闘いと学問研究、文化活動を通じて、将来、すぐれた民主的インテリゲンチヤとなる準備をすること、二つの二つです。

自民党と市設団の露骨な攻撃、B27沖縄駐留、野戦病院設置、エンタープライズ突進、原潜の放射能汚染など、又物価の値上り、タバコ、酒値上げ、米価のスライド制など、一連の事実日、日本がアメリカの侵略加担の道へつきすすみ、る兆由にものぼる軍費と、そのしわよせを人民学生に押しつけようとしていることを真に感じさせます。

このような中で、多くの学友が依然として、市大が貧困大学であり、明るく豊かな学園生活を築くには、はるかな距離を感じさせていると思います。

二のような時、市大自治会は、市大四〇〇〇学友の団結の要となり、全ての学友の意見と要求をその活動に反映し、反動勢力の攻撃と闘い粉砕し、全民主勢力の統一の強力な推進者となる必要があると考えます。

私たち全学連統一派は

全学連支持会員の「市大生のすすむべき道」で示された、市大生の「現状」そして「要求と方針」にもとづき、全学生が、全学連の二つの任務を具体的に実現していくため、二つの柱、五つの政策を掲げます。

二つの柱とは、「学生運動の二つの任務」のことであり、五つの政策とは、政治・経済・自治・文化・学問研究の政策です。さらに私たちは、市大自治会が一派の利益によって自治会数の一%に満たない「自治会共闘」に固執するのでなく、七〇%の自治会を包含する全学連と、国際学連の旗のもとで、学生の利益を中る斗いに真面目にとりくむべきであると考えます。

中執並学にあたって、私たちは以上の決意を表明し、当面する、6月大阪のフエトナ侵略加担の基地に反対する闘い、新案などの中予算の課題を闘い、市大自治会の民主的強化のために奮闘します。

全学連統一派

全学区候補者

学部区候補者

ECL